



おおがきし みらいけいかく
大垣市こども未来計画



こ む がいようばん
子ども向け概要版

れいわ ねん がつ
令和7年3月



おおがきし みらいけいかく
大垣市こども未来計画ってなに？

おおがきし みらいけいかく おおがきし す こ ほごしゃ たの
大垣市こども未来計画は、大垣市に住む子どもやその保護者が、楽しく
すこ す かんが つく けいかく し けいかく そ
健やかに過ごせることを考えて作られた計画です。市はこの計画に沿って、
とりくみ すす
取組を進めていきます。

か
どんなことが書いてあるの？

けいかく こ おとな すこ せいちょう ささ とりくみ
この計画には、子どもが大人になるまでの健やかな成長を支える取組や
こそだ ひと とりくみ か
子育てをする人たちをサポートする取組が書かれています。

たと はたら こそだ かんきょう こ いばしょ
例えば、働きながら子育てしやすい環境づくりや子どもの居場所
づくり、こ けんり まも とりくみ
子どもの権利を守るための取組について、どのように進めていくか
か
が書かれています。



けいかく なか たいせつ きほんりねん 計画の中で大切にしたいこと(基本理念)

すべ こ ひと すこ しあわ そだ
全ての子どもが等しく健やかで幸せに育つ
ともそだ めざ
こどもまんなかの共育てのまちを目指す

おおがきし すべ こ じぶん すこ しあわ せいちょう
大垣市は、全ての子どもが自分らしく健やかに幸せに成長することを
だいいち かんが こ わかもの じぶん きぼう のうりよく い こ
第一に考え、子どもや若者が自分の希望や能力を生かすことや、子どもを
そだ ねが かな しやかいぜんたい こ
育てたいといった願いを叶えることができるように、社会全体で子どもの
そだ こそだ ささ こ いっしょ そだ あ ともそだ
育ちと子育てを支え、子どもと一緒に育ち合うことができる共育てのまちを
めざ
目指します。

おおがきし こ と ま じょうきょう 大垣市の子どもを取り巻く状況

- おおがきし じんこう すこ へ つづ れいわ ねん やく まんにん さいいじょう
大垣市の人口は、少しずつ減り続け、令和2年で約16万人ですが、65歳以上
の人口は増えており、少子高齢化が進んでいます。
- さいみまん じんこう ねんしょうじんこう へいせい ねん くら せんにいじょうへ れいわ
15歳未満の人口(年少人口)は、平成27年と比べて千人以上減って、令和
ねんじてん やく まん にん
2年時点で約2万400人です。
- けっこん けんすう へいせい ねん けん れいわ ねん けん したまわ
結婚の件数は、平成27年は800件を、令和2年には700件をそれぞれ下回
り、令和3年は616件でした。
- ねんかん う あか かず へ つづ れいわ ねんじてん やく にん
1年間に生まれる赤ちゃんの数は減り続け、令和3年時点で約1,100人
です。

どうして子どもの声を聴くの？

この計画では、みなさん一人一人が主役です。

これまでも、子どもアンケートや意見交換会を通じて、みなさんから、様々な意見をいただきました。

この計画を、より良いものにするため、アンケートなどを行う予定ですので、ぜひ、たくさんの声を聴かせてください。

こどもまんなか意見交換会での主な意見

<居場所について>

相談できる人がいつもいて、いつでも行ける、いつでも相談できる場所があるといい

<少子化対策について>

お金や時間がないことから、子どもを持たない家庭があることが原因だと思うため、社会全体でサポートする

<共働き・共育てについて>

働きながら、子育てをするために、様々な働き方ができる職場を増やす

<子どもの幸せについて>

ひいきや差別がなく、個性、個人差について認め合えるといい

<子どもの幸せを守ることにについて>

友達や家族が大切にしてくれる環境があるといい



けいかく ないよう 計画の内容

3つの基本目標に基づいてさまざまな取組を進めていきます。

基本目標 I

子どもの生きる力をはぐくむ環境づくり

- 保育園や学校等での遊び・学びの環境づくりを行います。
- 切れ目ない保健・医療の提供や心身のケアを充実させます。
- いじめの防止や不登校の子どもへの支援を行います。
- 子どもを自殺や犯罪から守るための取組を進めます。
- 児童虐待の防止やヤングケアラーへの支援を行います。



※ヤングケアラーとは、本来、大人が行うような家事や家族の世話などをいつも行っていて、本当なら、勉強時間、部活動の時間、将来を考える時間、友達との時間など、子どもとして過ごす時間を、家事や家族の世話などにつかっている子どものことです。

どんなことをするの？

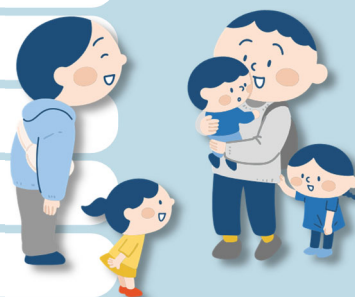
- 近くで相談できる子育てサポートの場所を作ります。
- 子どもが自分で考えたり、お友達と話し合ったりして、もっと深く学べるような授業を作るようにします。
- 地域の人たちと学校が協力したり、職業体験などを通じて、赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまでの年の人とふれあう機会を作ります。
- 出産後のお母さんと赤ちゃんをサポートし、さらに支援が必要な子どもや家族を早めに見つけて手助けをします。
- いじめを早期に発見し、相談できる体制をしっかりと整えて、いじめ防止を強化します。
- スクールカウンセラー等に相談できる体制を整え、パソコンやインターネットを使った支援や、関係する人たちと協力して、不登校の子どもをサポートします。



基本目標Ⅱ

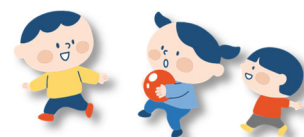
安心して子育てができる仕組みやマインドづくり

- 子どもや子育てをみんなで支える気持ちを広げます。
- 子どもの居場所を作ることを進めます。
- 仕事を見つける手助けや、結婚を支援します。
- 子育てや教育にかかるお金の負担を軽くします。
- みんなで一緒に子どもを育てる「共育て」を進めます。
- 子どもの貧困をなくすための対策を進めます。



どんなことをするの？

- 子ども・子育てをみんなで支えるため、大垣市子ども未来条例をみんなに伝えていきます。
※大垣市子ども未来条例は、みんなで協力して子育てができるあたたかいまちをつくり、すべての子どもが、夢や希望をもって健やかに育つことを目標にした条例です。
- 子どもが集まって活動できる場所や、自由にゆっくり過ごせる場所をたくさん作ります。
- 男女の出会いの場所を作るとともに、結婚して新しい生活を始める人たちをサポートします。
- お金の状況に関係なく、子どもが進学できるように、子育てをしている家族のお金の負担を減らします。
- 子育て中の家族を助けるために、地域に相談できる場所を作ったり、インターネットで相談できるようにして、しっかり情報を伝えます。
- 保護者が家庭での子育てを相談できるようにしたり、勉強会を開いたりして、家での教育をサポートします。
- お父さんが家事や子育てをもっと手伝うようにしたり、会社で育児のための休みを取ったり、職場や地域の人たちが協力して子育てをサポートする気持ちを広げます。



○ 子どもの大切な権利を考^{かんが}えながらまちづくり^{おこな}を行います。

※子どもの権利は、すべての子どもが心身ともに健康に育つために大切なものです。大きく分けると次のようなものがあります。

- ・差別を受けない権利
- ・子どもにとって一番良いことが優先される権利
- ・健やかに育ち、生きる権利
- ・自分の意見を言う権利



○ いろいろな遊びや体験、子どもが活躍できる機会を作ります。

○ 子育てを手助けする人を育て、支援のための情報を伝えます。

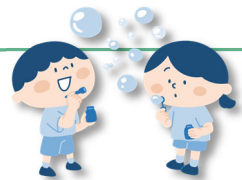
どんなことをするの？

● 子どもや社会のみんなに、子どもの権利について知ってもらおう活動をしたり、子どもの意見を聞きながら、「こどもまんなか」のまちを作っていきます。

● 地域にあるものを活用して、年齢や成長に合わせた遊びや体験の機会を作ります。

● 子育てをサポートする人を育てたり、関係する人たちと協力します。

● 情報を分かりやすく伝え、インターネットを使った手続きで便利にします。



おおがきし 大垣市こども未来計画 (子ども向け概要版) 令和7年3月

発行：大垣市

編集：こども未来部 子育て支援課

〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL 0584-47-7064 (直通) FAX 0584-82-2912

